

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス にここクラブ		公表日		令和8年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	学習・活動・休憩のスペースを用途別に分離し、必要に応じて個別対応が可能な環境を整備している。視覚刺激を調整するための仕切り等も設置している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	利用児童の特性や活動内容に応じて職員配置を調整し、安全確保と個別対応が可能な体制を確保している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	活動内容に応じてフロアを使い分け、動線を分離している。 1階はバリアフリーになっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	清掃・整理整頓を日常的に実施し、安心して過ごせる環境維持に努めている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個別対応が必要な際は相談室を利用し、状況に応じて静かな環境を確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	支援内容の振り返りを行い、必要に応じて支援方法の見直しを実施している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者評価の結果を事業所内で共有し、必要な改善事項を検討して運営に反映している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的にミーティングを実施、支援方法や環境設定について検討・調整を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	必要に応じて関係機関や専門職から助言を受け、支援の改善に活用している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	事業所内研修を毎月実施している。外部研修の内容は職員間で共有して支援の質向上に活用している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムを作成し、HP等で公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	アセスメントに基づきニーズを整理し、個別支援計画へ反映している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	個別ケース会議を通じて児童の最善の利益を踏まえた支援方法を検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	個別支援計画を職員間で共有し、内容に基づいた支援を実施している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	4	日々の行動観察や記録を基にアセスメントを更新し、支援内容の見直しに反映している。	事業所内で共通したアセスメントツールを作成予定。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員間で役割分担を行い、チームで支援を実施している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	各職員が日頃から情報収集に努めている。 外出レク、外部の講師による出前講習、外部イベントへの参加等新しいレクを考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別支援と集団活動を組み合わせ、目的に応じて活動形態を選択している。 また、作業療法士の専門的視点を取り入れ、姿勢・感覚・操作性等に配慮した活動内容を設定している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前に朝礼等で役割分担と留意点を確認し、統一した支援を実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後に記録と振り返りを行い、次回支援に反映している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の記録を基に支援の妥当性を確認し、必要に応じて改善に役立っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	活動内容や参加方法を子どもが選択できる機会を設け、自己決定を尊重した支援を行っている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	医療・保育・教育機関と必要に応じて情報共有を行い、支援方針の統一を図れるよう努めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校と日課・下校時間・支援上の配慮事項を共有し、送迎時や連絡手段を用いて継続的に連携している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	相談支援専門員を通じて情報共有を行い、支援上の配慮事項の把握に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	現在対象児童はいないが、移行が必要となった場合に備え情報共有体制を整えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	必要に応じて研修案内等の情報共有を受け、職員の知識向上に活用している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	公園利用や地域イベントの参加を通じて、自然な形で地域と関わりの機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や連絡手段を用いて日常的に状況共有を行い、共通理解の形成に努めている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	外部講師を招いた保護者向けペアレント・トレーニングの実施を予定しており、家庭での関わり方の共有機会の確保を進めている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に重要事項説明書を用いて説明し、質疑応答を行いながら理解確認を行っている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	面談及び日常の聞き取りを通じて意向確認を行い、個別支援計画へ反映している。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	個別支援計画の説明を行い、保護者の同意を得た上で支援を実施している。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者からの相談に対し、面談や送迎時の聞き取り等により状況把握を行い、必要に応じて支援内容の調整を図っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4	保護者会は実施していないが、送迎時や連絡ツールを通じて個別に情報共有・相談対応を行っている。	今後はきょうだい児向けのイベント等、参加しやすい形での交流機会の設定を検討している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情受付窓口を設け、内容を記録・共有し、必要に応じて再発防止策を検討している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	HPやSNSを活用し、活動内容や事業所の取り組みを定期的に発信し、保護者への周知を図っている。	SNSについては各ご家庭への周知方法について検討が必要。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取扱いについては、書類の施錠保管・端末のパスワード管理を行っている。また、写真使用は同意書に基づき管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	絵カードや写真、ジェスチャー等の視覚支援を活用し、特性に応じた伝達方法を統一して対応している。保護者へもLINE等で分かりやすい表現を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	利用児童の特性に配慮し、大人数交流の行事は実施していないが、地域イベントや公園活動を通じて地域住民と関わる機会を設けている。	今後は地域での清掃活動等、無理のない範囲で地域との関わりを持つ取り組みを予定している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	事故・感染・防災等の各マニュアルを整備し、職員へ周知するとともに定期的に研修を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPを策定し、非常時の対応手順を職員間で共有している。防災訓練を実施し、非常時の役割分担を確認している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に確認し、変更があった場合は速やかに職員間で共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	医師の指示書及び保護者からの情報を基に職員間で共有した上で提供物の確認を徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画に基づき、定期的に職員研修・避難訓練・安全指導を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7	0	ヒヤリハット記録を作成し、職員間で共有・再発防止策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止研修を実施し、対応等について職員間で共有している。	職員間での共有・相談体制を整え、定期的な研修を通じて虐待の予防と早期対応に取り組んでいる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	身体拘束は実施していないが、適正化指針に基づき職員へ周知している。		